



(一社)全日本実業団自転車競技連盟

*Japan Bicyclist Club Federation*

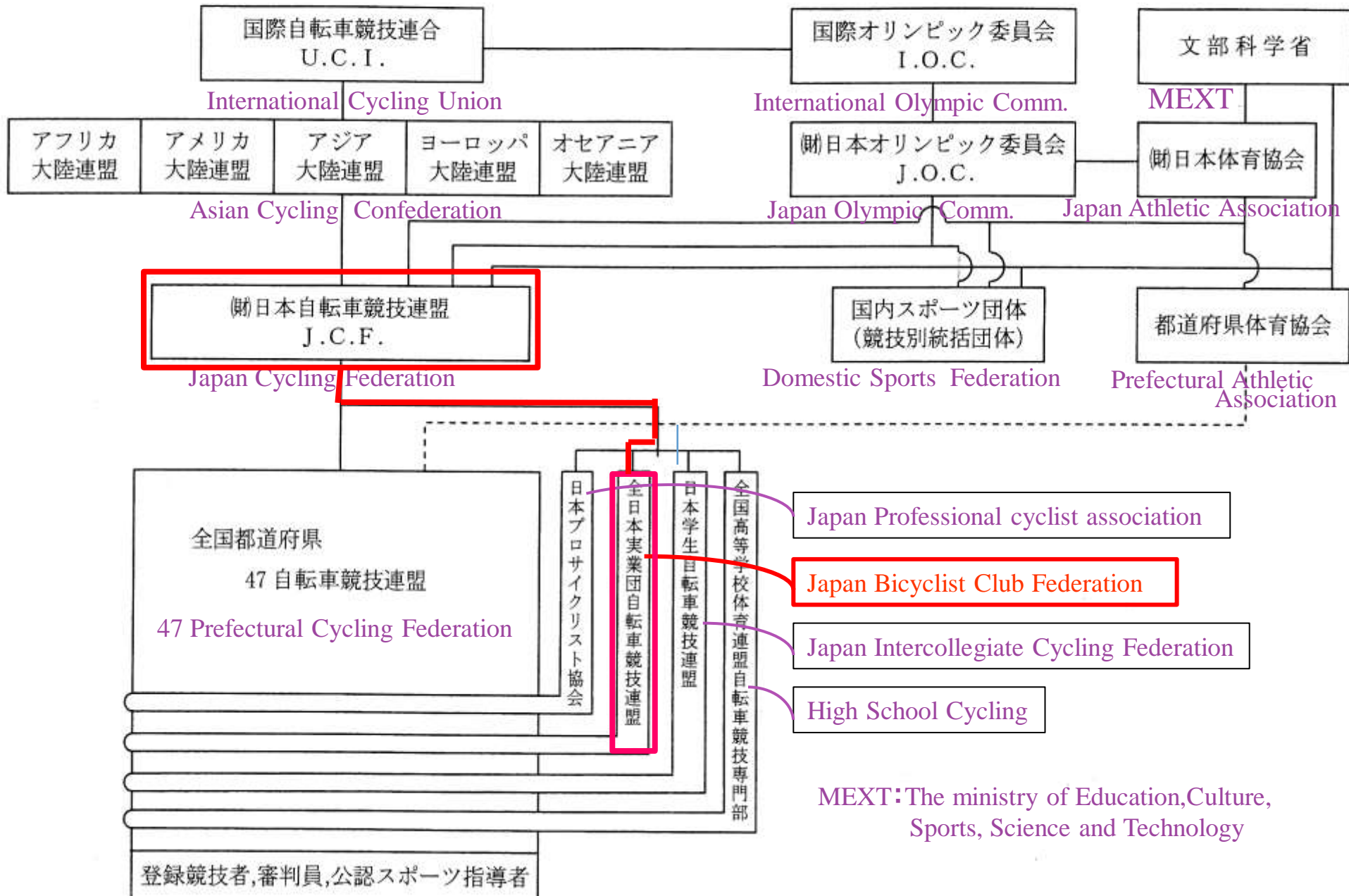
2014年度事業活動方針



# JBCF47年の歩み

- 1966年6月 日本自転車工業会(現自協会)・自転車産業振興協会支援で  
“第1回自転車業界親善ロードレース大会”が実車連の前身としてスタート
- 1967年3月 日本自転車工業会・企業が中心となり”全日本実業団自転車競技連盟”創立
- 1968年3月 通産大臣旗下賜“通産大臣旗・第1回全日本実業団対抗ロードレース大会”開催
- 1972年～ 実業団からオリンピック選手多数輩出、モントリオールで長義一6位入賞。  
その後毎大会選手派遣。
- 2001年 加盟チーム128チーム、加盟登録者数1122名、初めて1000名を超える。
- 2011年1月 従来の任意団体から“一般社団法人 全日本実業団自転車競技連盟”となる。  
連盟の基盤強化“連盟方針 JPTの価値UP”目指しスタートする。
- 2011年3月 事務局スタート一週間で、東日本大震災により中止大会が相継いだ。
- 2011年4月 震災不屈支援大会“大阪舞洲クリテリウム”始め 代替え・追加大会等で、計画  
大会は、ほぼ実施できた(マイナス1大会)
- 2012年～ コンチネンタルチーム、地域密着・貢献型チームの増加傾向  
(2013年は、JPTでコンチネンタル7チーム、地域密着5チーム)
- 2014年～ 2014年 JPT21レース、JET33レース、JFT32レース、JYT5レースとなる。  
公道レース、UCIレース、ステージレースなど新レース運営展開へ。

# An Chart of Japan Cycling Correlatiog Federation



# 基本方針

JBCF Japan Pro Tour を日本国内のトップカテゴリーの  
ロードレースとして、**その価値を高める**

それがプレステージを高め、東京オリンピックを目指すうねりが  
多くのファンを生み出し、すそ野が広がってゆき

**クラスタ&ランキング制度の質をたかめて**

**競技人口の拡大に繋ぐ**

それによりサイクルレースがメジャースポーツに近づく

J-Pro-Tour を日本国内でのトップカテゴリーの  
自転車ロードレースとして、さらにその価値を高める

2014年から

JPTの2クラス制導入めざす  
(TOP-P 10チーム P-12チーム)

Japan Pro Tour

TOP-P  
P

JPT

203

E1

JET

363

JYT

E2

416

JFT

E3

1355

F. Y1. Y2

115 (66)

エントリーライダー・加盟予備軍拡大・1Day登録から

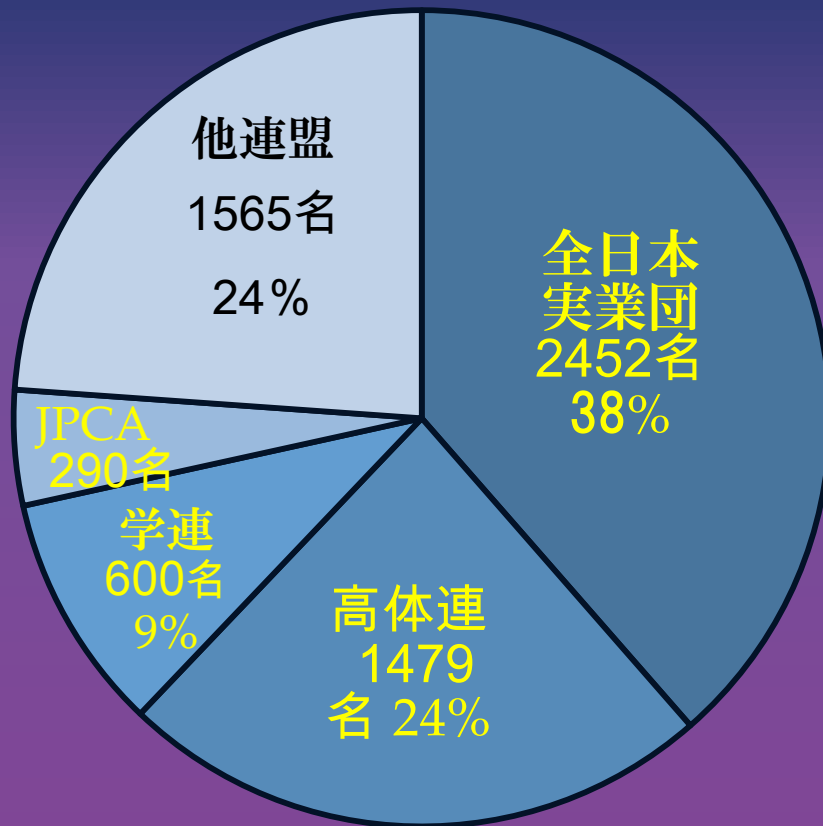


# JCF登録者数の内訳

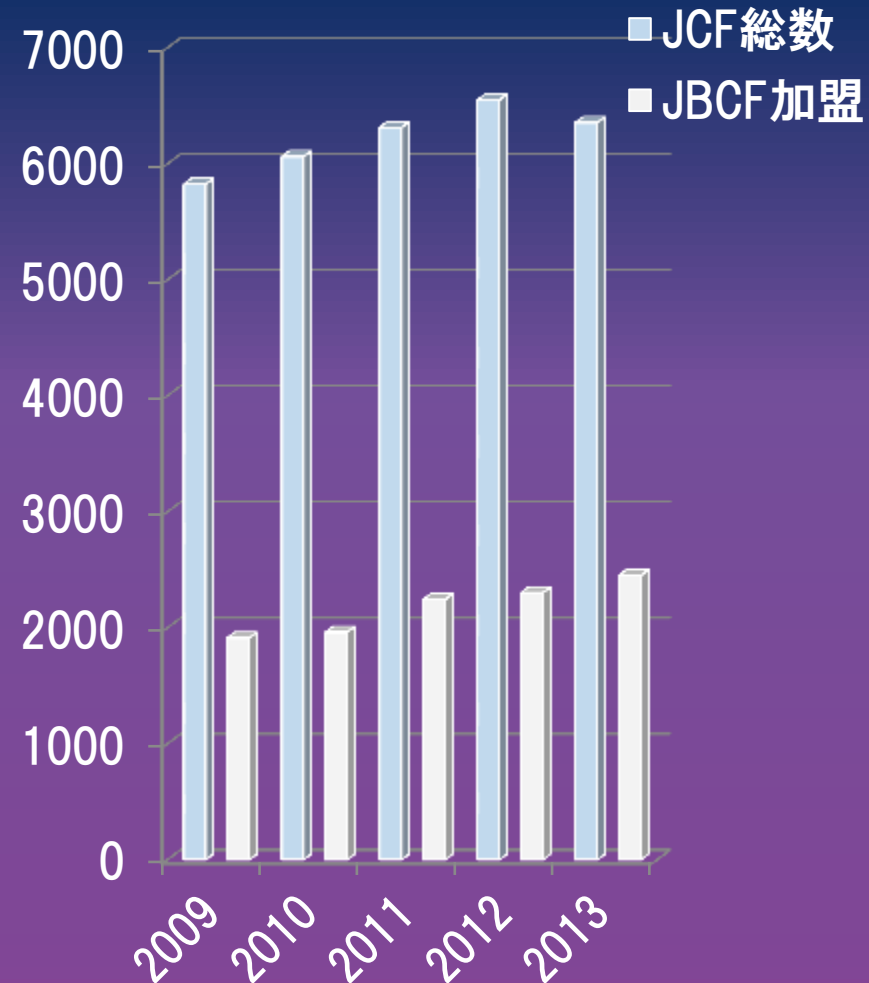
平成25年度

## JCF全国組織登録者分布グラフ

JCF登録者総数 6411名



## 加盟登録者推移グラフ



# 2014年 JBCF活動方針

## 魅力ある連盟（今年はより高く・・・）

競技で楽しく、見て愉快、目指すはJPTから東京五輪へ

1.メジャースポーツへの成長（魅せる、創るレースへ）

グローバルスタンダード&オリジナルも醸成

2.広報強化・情報発信力の進化向上

メディアミックス・アプローチ・即応力・

3.本部機能の充実（事務局）

Webを駆使・日々完結

# 2014年 JBCF活動方針

## 1. メジャースポーツへの成長（魅せるレース、創るレースへ）

### Jツアー進化：JPT価値向上

2014年**2ランク制**を導入（トッププロ10+12チーム）

JPTチームのレベルアップ（チーム登録条件・契約内容充実）

- 大会運営
- 集客・ファンの拡大推進（チームファンクラブ、Uスト定着）
  - 年間スケジュール早期策定（JFT, JYTの拡充、優先処遇対応も）
  - UCI、JCFルール基本の大会運営（グローバル・安全性・公平性・機材も）
  - 競技審判役員のスキルアップ（若手育成・**大会配備システム構築**）
- 国際化
- ジュニアの重点育成（JYTからヨーロッパ**実戦強化派遣**へ）
  - アンチドーピング活動の拡充周知、ルール厳守、健康な連盟
  - 連盟強化（**チームアテンダント、審判、ドーピング講習会**など）
  - UCIレースの開催準備を始める（国内でポイント獲得）



# 2014年度 JBCF活動方針

## 2. 広報強化：情報発信力の向上

露出度アップ(変化に対応：メディアミックス・モバイル)  
メディア環境の変化にも追隨できる活動

- メディアへの大会告知・発信をルーチン化・拡大定着
- 広報企画委員会の活動活性化・定期開催
- リアルタイムな情報を、他連盟との連携強化
- 動画制作の継続、映像を残し将来のJBCFの資産に
- スピードアップ、ゴール後すぐに表彰式の開始  
リザルト、ランキング即応性アップ目指す
- 公式HPコンテンツ見直し改善・拡充

# サイクルレースの地球環境と共生

運動  
芸術

環境

持続

オリンピック・JBCFでも  
スポーツで持続可能な地球環境を  
Environment → Sustainable

環境との共生：自転車レースシーンでできること

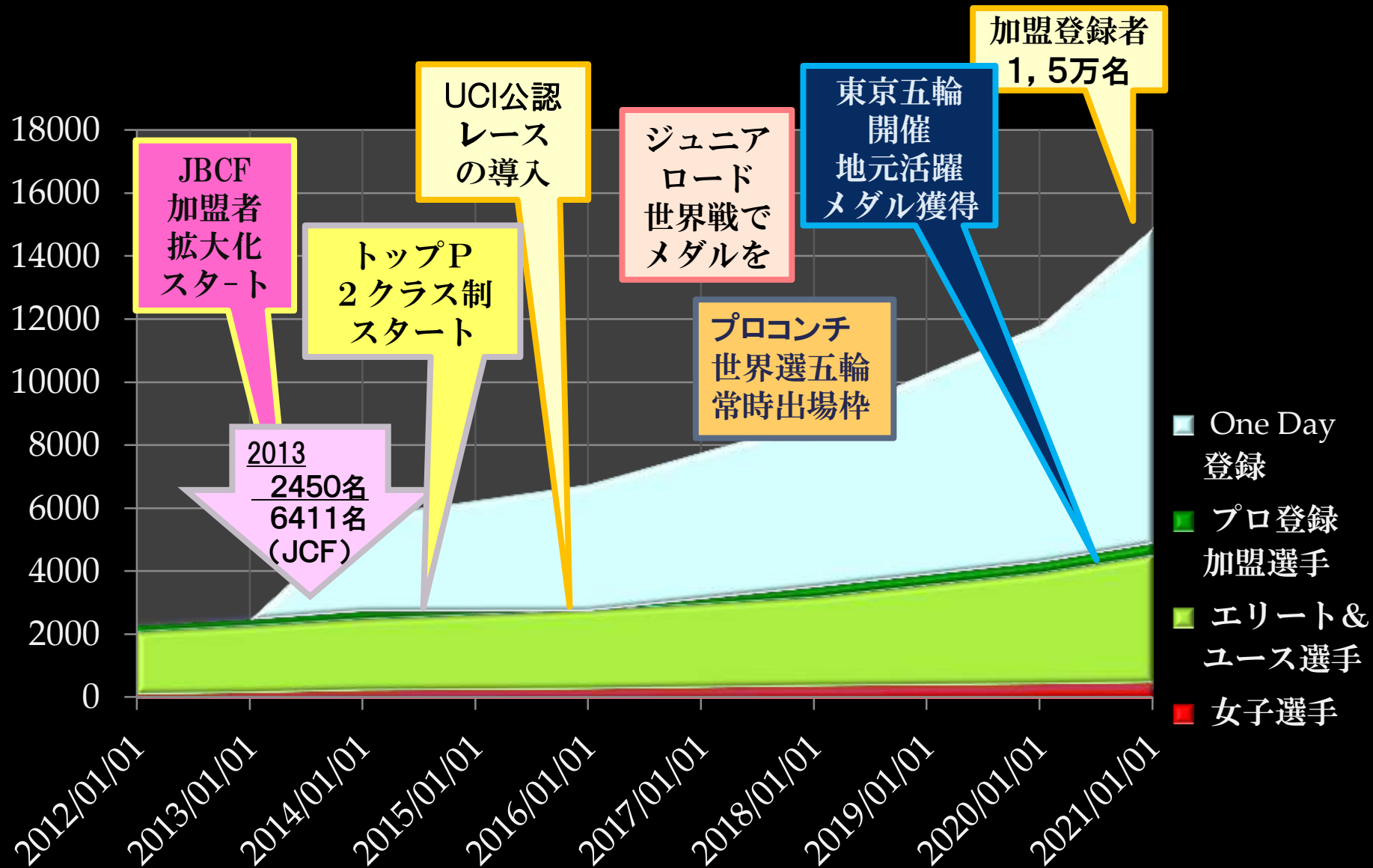
競技マナー向上：補給・回収ゾーン徹底，“禁ごみ”活動  
真のスポーツ環境へ“禁煙”

競技運営では：“CO2削減”レースのエコ運営

レース車両のハイブリッド車COMカー

競技外の活動：ペーパーレス進化と最適・最少へ

# JBCF エポック・加盟選手数の目論見



# JBCF 2014年度の新&主要事業

## ビッグイベントとのコラボなど検討

- 公道レースの増加  
新潟南魚沼・大分市でのロードレース……
- 幕張メッセでクリテリウムのJET最終戦へ
- ジュニアの海外派遣強化(JYT選考・海外拠点)
- お台場クリテの再シリーズ戦導入
- 女子選手の満足度向上(参加し易い大会めざす)
- ヒルクライムシリーズ戦の検車制度・1Day登録推進